

(1) 団体概要

1) 団体名称	二之丸塾		
2) 所在地	三重県亀山市本丸町 585 (亀山市立亀山西小学校内)		
3) 代表者	稲垣 賛郎塾長	4) 構成員数	58名 塾長、副塾長、顧問(校長、教頭) 構成員: 元PTA役員の有志、地域からの代表、PTA(会長、副会長)、学校(校長・教頭・教諭)、趣旨賛同者 事務局: 亀山西小学校地域教育グループ
5) 団体概要	<p>本団体は、地域・保護者・学校が、地域や学校での子どもたちの姿や課題を共有することで、互いに協働しながら亀山西小学校の子どもたちの健やかな成長を目指して発足した。</p> <p>行事を企画したり、活動に取り組んだりするだけではなく、子どもたちや保護者、地域の人たちの悩みを受け止め、「縁の下の力持ち」として、その解決に向けて協議する取組を進めている。</p>		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西小キャンプ ・西小大会 ・西小SOS発足呼びかけ ・連だこ大会 ・川遊び ・外国につながる子どもの保護者との交流会 ・子育てに関する講演会、交流会 ・地域の子どもを語る会 ・二之丸花壇 		
6) 主な活動対象	亀山市立亀山西小学校の児童(及び保護者、及び教職員)		
7) 発足年	平成 15 年(2003 年)4 月		
8) 発足経緯	<p>平成 15 年 4 月に、地域・保護者・学校が情報を発信しあい、地域や学校での子どもたちの姿や課題を共有することで、互いに協働し、亀山西小学校の子どもたちの健やかな成長を目指して、二之丸塾(亀山西小学校教育協議会)として発足。</p> <p>PTAは、総会出席者もごく一部にとどまり、かつ単年度制の役員編成であるため、保護者、PTA役員、学校教員はお互いの顔が十分見えない状態であった。又、教育協議会は亀山市の校区ごとにつくられているが、当時亀山西小学校区だけはつくられていなかった。こうした中、亀山西小学校の当時の教頭とPTA役員の共通認識として、保護者、PTA、学校の三者が腹を割って話せる関係にならなければ問題は解決しないとの考えを持ち、教頭、教員、PTA役員、PTA元役員、地域の有志がメンバー間の情報交換の場として、月に一度の定例的な会合である「清風会」が開かれることになった。</p> <p>「清風会」の集まりの中で、「ほかの学校にあって亀山西小学校にないもの、足りないものは何か」を検討し、まずは、地域の人たちに学校、PTA、子どもたちのことを知ってもらうことであるとの結論から、PTA広報誌の地域への回覧と、地区集会への校長・教頭及びPTA役員の参加を実施した。さらに、「本来の目的である子どもたちのために自分たちにできることは何なのか」という議論がはじまり、子ども会という組織を</p>		

	<p>活用した「西小大会(ソフトボール、キックボール大会)」を企画し、校区から合計 11 チーム・200 名の参加を得て開催した。</p> <p>この大会を通じて、子どもたち及び親たちの横のつながりと連携が生まれるという成果が得られたが、子ども会中心の活動となり、教員及びPTA役員の参画は薄いままであった。これに対し、「子どもたちの楽しそうな姿を見ることが目的、大会は手段」との認識から、目的意識を明確にし、それを共有する有志を集めようとして、「二之丸塾」(教育協議会)がつくられた。設立趣意は次のとおり。</p> <p>【二之丸塾 設立趣意書】</p> <p>亀山西小学校児童及び地域の青少年に対する「近所のおっちゃん、おばちゃんによる世話焼き」と学校・PTA活動に対する「やや強制的で勝手な割り込み及び支援」を口実とした会員相互の親睦を目的としています。</p> <p>「衣食住足りて礼節を知る」という言葉が忘れられているようではありません。時代の流れでどうしようもないことではありますが、次代を担う私たちの子どもを健全で少しでも良い環境で育てたいという願いから発足する会です。良い環境とは、決して甘やかせたり楽しませたりというわけではありません。時には叱ったりほめたりと地域の我々が温かく子どもの成長を見守っていかなければならないと思います。そしてそれは、子どもたちだけではなく間違っていると思われる保護者の人にも教職員にも向けていきたいと思います。</p> <p>この主旨をご理解いただける方は、是非ご参加いただけるようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">2003 年 4 月 二之丸塾(初代)塾長 米川宗太郎</p> <p>二之丸塾は、松下村塾のように、「来るものは拒まず、去るものは追わず」という精神のもと、誰でも年齢、性別、職業に関係なく参加でき、厳正な規則も定めず相互に親しみ助け合う組織にしたいということで、名称に「会」ではなく、「塾」を用いた。名前の由来が地域の方からよくわかるようにと、亀山西小学校の所在地(亀山城二之丸御殿跡)から「二之丸」をとり、「二之丸塾」と命名した。</p>
9) 協力者	亀山西小学校児童の保護者、学校関係者、PTA、自治会、老人会、子ども会等
10) 活動方針・特色	<p>地域とPTAと学校が手を取り合って、子どもたちの成長支援に向き合い、ともに考え、ともに汗しながら、そのつながりを深めあうこと、子どもたちとともに大人たちも成長することを大きな狙いの一つとして掲げて活動。子どもたちや保護者、地域の人たちの悩みを受け止め、縁の下の力持ちとして、その解決に向けて協議する取組を行っている。</p> <p>単年ごとに関係性が途切れぬように、前後の世代をつなぎ、学区内の各地区をつなぎ、地域・PTA・学校間をつないでいく役割を担うとともに、それぞれの立場では動きにくいことも“世話焼きと割り込み”として実現・実行していく点に特長がある。</p> <p>教員、校長、教頭、地域の人、PTA(OB含)が混ざり合っているいろいろなことが話せる場としての定例会を月 1 回設けている。定例会でそれぞれの課題や問題意識を相談し合い、個人では提起しにくい困りごと等を二之丸塾が代弁し、各組織や個人単体では対応できないことに二之丸塾という立場で対応することを試みている。なお、学校、PTA、二之丸塾は、並列で上下のない関係性を維持している。</p>

	<p>基調となる考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって地域全体が学校 ・地域は子どもたちの学びに主体的にかかわるべき ・地域と学校は積極的に情報を双方向に発信しながら、教育の課題を共有する。 <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに対して、大人(地域住民・保護者・学校)としてなすべきことをなす。
11) 被表彰歴	平成 25 年度公益財団法人三重こどもわかもの育成財団表彰

(2) 活動内容例

12) 主な活動内容例	<p>西小キャンプ(平成 15 年(2003 年)。設立初年度)</p> <p>亀山西小学校の建て替えのタイミングで、建て替え前の学校で一泊二日 500 人が寝泊まりした。亀山西小学校教員、二之丸塾の塾員と地域の人が、時間ごとに自分の担当を決めて行動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り壊す校舎の絵をスケッチ、写生会 ・肝試し ・テント(高学年)と体育館又は教室(低学年)で宿泊。 ・キャンプファイヤー <p>(平成 21 年(2009 年)以降は、小学校グラウンドで 3 年ごとに実施中。)</p> <p>西小SOS(平成 16 年(2004 年)から実施中)</p> <p>地域住民による登下校時の児童の安全確保を主な目的として組織された「子ども安全見守り隊」は、主に祖父母世代を中心に 150 名余りの登録を得て実施している。</p> <p>二之丸塾の話し合いの中で、「夕方頃犬の散歩やウォーキングをしている人たちに下校する子どもたちと一緒に歩いてもらったらどうだろうか」との発案がもとになり、アイデアを出し合って実現したもの。</p> <p>パトロールは、それぞれが都合のいい時間に腕章をつけて下校する子どもたちといっしょに歩いてもらう、もし不審者に出くわしたら何もせず人のあるところまで歩いてもらうという方法をとっている。</p> <p>二之丸塾からPTA、老人会、自治会に協力要請し、当初 20 名から活動を始めた。腕章は 6 年生児童が家庭科の時間に製作し、二之丸塾と 6 年生が応募者宅を訪問して依頼して回った。その後協力者が増え、現在約 150 名にまで活動の輪が広がっている。</p> <p>西小SOSの方々と子どもたちは朝夕の挨拶が交わされ、一緒におしゃべりしながら下校する姿が見られるほか、校区内の中学生や大人も声を交わし合う関係が広がっている。又、亀山西小学校の子どもたちはSOSの方々と年賀状・暑中見舞いの交換や、学校行事に招待する交流も行っている。</p> <p>活動が犯罪の抑止力になっており、見知らぬ大人に子どもが声をかけられるといった事例は今ではほとんどなく、安全で安心な地域づくりにつながっている。</p>
-------------	--

(3) 総括

視点① 青少年自身の活動参画状況	西小SOSの腕章を 6 年生が作ってSOSの方々に訪問して回るほか、手紙のやりとり等も行おう等、子どもたちが活動の一部を担っているが、子どもたちが二之丸塾の話し合いの場に参画することはない。
---------------------	---

<p>視点② 活動の独創性・先駆性</p>	<p>二之丸塾は、亀山西小学校校区において、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校(教職員)・保護者・子どもとの地域をつなぐ ・地域の意見の代弁者 ・学校(教職員)・保護者への提言役 ・教育行政に対する意見者 <p>という立場・役割を担うもので、PTAとも、子ども会とも、自治会とも違う独自の存在である。</p> <p>より良いコミュニティを形成するために一部の組織だけでは対応できない問題や課題の解決を目指し、「地域全体が子どもたちにとって学校」という考え方から、地域が子どもたちの学びに主体的に関わり、枠組みに縛られない発想で子どもたちの育成を担っている。</p> <p>それぞれの立場の垣根を越えて、腹を割って問題課題を話し合い、解決の方向性、アイデアを出し合い、又、目安箱を用いて匿名で寄せられる各種意見・苦言にも真摯に耳を傾けながら、「地域住民が子どもたちをよい環境で育てる」ことを実現・実行しようとしている。</p>
<p>視点③ 地域との連携状況</p>	<p>二之丸塾自体が地域内のさまざまな立場の大人たちの有志グループであり、「地域の子どもは地域で守り育てる」という考えのもと、地域と連携が取られている。</p> <p>キャンプや納涼会等の大規模な行事では、PTAや子ども会、育成市民会議メンバー等の協力を得て開催されている。</p> <p>西小 SOS の活動は、地域に浸透し多くの参加者と賛同者を得ており、日常的にあいさつや声の掛け合いが自然に行われる地域社会を育てている。実際、子どもたちの事故も減り、安全・安心な環境づくりにも貢献している。</p>
<p>視点④ 利用者・参加者の視点 取り込み状況</p>	<p>開塾 2 年目に「二之丸目安箱」を亀山西小学校内に設置し、意見、要望・アイデアを広く求めている。電子メールでの受け付けも行っている。行事の参加者にアンケートを実施している。</p> <p>目安箱には、実際にさまざまな意見が寄せられている(匿名が多い)。「裏庭が危険だからなんとかしてほしい」等。目安箱に寄せられた内容は、会員が全員回覧して討議し、取り組んでいる。その検討結果は「二之丸塾だより」に記載するようにしている。イベント参加者のアンケート内容も一部「二之丸塾だより」に掲載している。</p>
<p>視点⑤ 波及・将来性</p>	<p>「地域の子どもを語る会」で地域住民と直接対話の機会を設けている。又、地域に対して「二之丸塾だより」の配布を行い、地域外には研修会等での発表機会等を通じて、情報発信・情報交換を行っている。</p> <p>「二之丸塾地区訪問」を行い、ほかの地区の行事を見学・ヒアリングする等、積極的にはほかの地区の考え方等を取り入れている。</p> <p>西小全校キャンプや西小大会等の行事は、テレビや新聞の掲載によって広域に発信されている。</p>
<p>視点⑥ 継続性・持続可能性</p>	<p>二之丸塾は、平成 15 年の発足以降、毎月第二金曜日に定例会を開催している。西小キャンプは 3 年ごとに開催、西小納涼会は平成 19 年度よりキャンプ実施年以外毎年開催、西小大会も毎年開催し、活動は 13 年目を迎えている。</p> <p>二之丸塾の趣旨を毎年広く告知し、賛同者を集め、目的を逸らさない活動を続けている。</p>
<p>13) 今後の計画・目標</p>	<p>残すべきところは残し、改革すべきところは改革しながら前進する。</p> <p>今後、「二之丸目安箱」や「地域の子どもを語る会」を通したたくさんの意見を活かし、真摯に取組を見直しながら継続していく。</p>

1-7. 三重県 二之丸塾

(4) 資料

西小SOSの

見守り活動・下校風景



「二之丸塾だより」(平成 19 年 9 月 No.28)より

にのまるかだんきょうどうさぎょう (7月2日)



地域の協参加により二之丸花壇(学校花壇)への苗の植え付け作業を子どもたちとともに行いました。地域の皆様には、雨天により日程の変更がなされ、いろいろとご迷惑をおかけしました。



この夏、育った花たちがいよいよきれいに花壇を彩る時期を迎えました。ぜひ、一度ご覧になりにお越しい

二之丸塾西小納涼会 (8月19日)

夏真っ盛りの中、多くの組織、そして参加者の協力によって作り上げられた納涼会。暑い中でしたが参加者約240人で夏の楽しいひとときを過ごしました。



PTAによる「ヨーヨーつり」、育成市民会議メンバーによる「すいか割り」、KIFAおよび外国籍児童保護者による「バーベキュー」、二之丸塾が中心になった「流しそめん」とそれぞれの催しに参加者も手伝いとして加わり、汗を流しながら多くのつながりを生むことができました。ご協力ありがとうございました。



「二之丸塾だより」(平成 22 年 10 月 No.41)より


第9回二之丸杯西小大会


子どもたちに試合をする機会を「西小校区全体のつながりを」を目標にスタートした西小大会は、今年で9回目を迎えました。

今年度も関町総合運動公園を会場にソフト6チーム、キック7チーム、ドッジ3チームで白熱した試合が繰り広げられました。

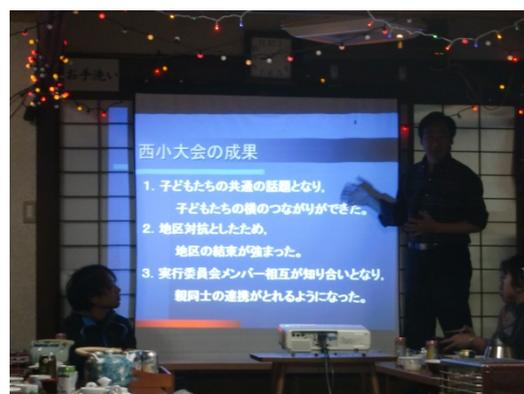


ソフトボールの優勝チーム(野村・愛宕・南野A)と各監督コーチや二之丸塾員、教職員による合同チームとエキジビションマッチもあり盛り上がりました。

また、午後からは、自由参加のドッジビー大会(PTA主催)も開催されました



二之丸塾会合の様子



1-7. 三重県 二之丸塾



亀山西小学校に設置されている二之丸目安箱

(5) ヒアリング実施概要

ヒアリング実施日	平成 26 年 12 月 12 日(金)
ヒアリング会場	三重県亀山市江ヶ室 弘法院 清風庵
ヒアリング対象者	稲垣 賛郎氏(二之丸塾 2 代目塾長 米川 宗太郎氏(二之丸塾初代塾長、平成 15~25 年) ほか、二之丸塾メンバーの方々
ヒアリング実施者	西井 正敏委員(公益社団法人和歌山県青少年育成協会 事業課長)
事例紹介者	公益財団法人三重こどもわかもの育成財団